

## 宍戸遊美 個展「レインボーレーン」 開催のお知らせ

この度、3331 Arts Chiyoda では、8月23日（金）～9月16日（月・祝）の会期にて、宍戸遊美 個展「レインボーレーン」を開催する運びとなりました。

宍戸遊美は、3331 Arts Chiyoda の設立メンバーのひとりであり、アーティストとしても、沖縄県沖縄市、富山県氷見市、秋田県大館市などでアートプロジェクトの立ち上げ・運営に携わってきました。“その土地で続いてきたもの”を見つめ、人と人・地域と人との多様な距離感を受け入れること。そして、その風景や関係の中で自らもまた“続いてきたもの”の一端をつくっていく立場になるということ。地方で培った経験は、それらを学び、感じ、実践する場であり、今の活動にも繋がっています。

### 「その土地に根を張って生きる人々の姿は美しい」

宍戸は作品制作において、現地で生きる人々と共に「見つめること・知ること」を制作姿勢の根幹としてきました。そして、4年前に始まった千代田区外神田を中心とするアーツ千代田 3331 での活動のなかで神田五軒町という土地やそこに暮らす人々と関わり、彼らの生き方や記憶に触れることで、“東京”もまたひとつの地・地域として、自分の足元に直結するようリアルリティを持ち始めたのです。

「レインボーレーン」は、神田五軒町に戦前から住むふたりの男性への取材からなる作品です。彼らとの会話から見出されるエピソードや想いは、アートセンターを日々運営し、時間をかけて育んでいく関係があるからこそ見えてきたものでした。昭和7年生まれ、昭和11年生まれの彼らが語る、青年期から現在に至る景色には、震災や戦争、経済崩壊といった数々の出来事が、“情報”としてではなく、土地と結びついたひとつひとつの記憶として刻まれています。

すぐそこにあるかのようで遠く、触れられそうで決して掴むことの出来ない彼らの記憶の断片や瞬間。会場では、取材時に撮影した写真をスライド映写機で投影し、光を帯びて浮かび上がる彼らの姿と声が暗闇の中で重なります。映写機の「カシャッ」「カシャッ」という音は、彼らの記憶を“いま、この場所”に新たに刻む音かもしれません。

はるか遠くにあるものをたぐり寄せ、そっと触れてみたとき。そこには、何が現れてくるのでしょうか。東京では初の個展となるこの機会に、是非足をお運びください。

- タイトル：宍戸遊美 個展「レインボーレーン」
- 会 期：2013年8月23日（金）～9月16日（月・祝）12:00-19:00
- 休場日：毎週火曜日
- 会 場：3331 Arts Chiyoda IF 3331 GALLERY 入場無料
- 主 催：3331 Arts Chiyoda
- ウェブサイト URL：<http://www.3331.jp/schedule/002094.html>



[ このプレスリリースに関するお問い合わせ先 ]

3331 Arts Chiyoda | アーツ千代田 3331

〒101-0021 東京都千代田区外神田6丁目11-14 TEL: 03-6803-2441 FAX: 03-6803-2442

E-MAIL: [pr@3331.jp](mailto:pr@3331.jp) <担当：高橋> URL: <http://www.3331.jp>

## ■作家紹介 宍戸遊美（ししど・ゆうみ）



1978年東京都荒川区生まれ。

東京造形大学美術学部絵画専攻卒業。卒業後、保育所芸術専門員の仕事に従事しながら、沖縄県沖縄市でのアートプロジェクトの立ち上げと展覧会制作・発表を行う。2004年コマンドNに加入し、東京都千代田区でのアートスペース運営と、富山県氷見市、秋田県大館市でのアートプロジェクトの事務局を担当。

2008年より、3331 Arts Chiyodaの立ち上げに参加し、現在はプログラムマネージメントを担当。



コミュニティの強い繋がり、方言、自然と向き合いながらの仕事……

その土地に根を張って生きる人々の姿は美しい。

私はこれまでアートプロジェクトを通して地方をめぐってきた。

それは、東京で生まれ育ち生活する私と、“それら”がかけ離れたものではなく、かすかに繋がる細い糸のようなものを探る作業だったのかもしれない。

4年前、3331 Arts Chiyodaの設立に携わり、この土地で暮らす人たちと対峙したとき、

これまでアートプロジェクトを通して見つめてきたあの風景が、東京にも存在することを実感した。

はるか遠くに求めていたものが、自分が立っている場所に見えはじめたのだ。

誰に知られることもない何気ない日々が積み重なり、この土地の歴史や文化が構築されている。

その先に、私の日常が重なるとき、この世界は“見えない奇跡”の連続であるように思えた。

戦前から千代田区外神田に住むふたりの男性にインタビューを重ね、

彼らが青年期に目にした景色・温度・歓喜・葛藤を知ることは、今の私に必要なことだった。

なぜなら、青年期の彼らが踏みしめてきた場所を、私もはこれからも踏みしめていこうとしているのだから。

— 宍戸遊美

[ このプレスリリースに関するお問い合わせ先 ]

3331 Arts Chiyoda | アーツ千代田 3331

〒101-0021 東京都千代田区外神田6丁目11-14 TEL: 03-6803-2441 FAX: 03-6803-2442

E-MAIL: pr@3331.jp <担当: 高橋> URL: <http://www.3331.jp>